

成績評価における客観的な指標について

- 学年ごとに個人別・科目別の成績評価を点数化し、個人成績を算出。

- 成績の評価
 - (1) 講義の3分の2以上に出席した者が終了試験を受験できる。
 - (2) 全科目、終了試験もしくはレポート提出等を行い、担当講師が採点・評価
 - (3) 評価は各科目、100点満点、A(80点以上)、B(70点以上80点未満)、C(60点以上70点未満)とし、C以上を合格とし単位を与える。

- 各学生の学科内順位や成績の分布は、上記で得た全科目の点数の平均の偏差値を指標として用いて把握する。

- 病気やその他正当な理由により試験を受けることができなかった者に対しては追試験・追実習を行い、不合格者に対しては再試験又は再実習の結果に基づき単位修得を判定する。